

地球規模で考え、足元から行動するグローバルの視点で ～地域報道と医療と社会～

日時

10月14日(土)

13時～16時 (開場: 12時30分)

会場

福岡市 NPO・ボランティア交流センター
あすみん

福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス 4 階 電話 092-724-4801

新型コロナのパンデミック、気候変動、戦争……。今、我々の前には世界が抱える問題が山積しています。次世代に持続可能な地球、社会を残すのは現世代の責任です。プラネタリーヘルス（地球・生態系の健康）を念頭に地球規模で考え、足元から行動するグローバルの視点、そこから見える地域報道と医療と社会を論じます。地域の広がり、重なりが世界です。ご参加をお待ちしています。

《主催者挨拶》藤野 博史（日本医学ジャーナリスト協会理事・西日本支部長）

《司会》中村 弥和（西日本支部常任幹事）

定員 会場 50人
オンライン 100人
(先着順)

対面・オンライン
併用ハイブリッドで開催
zoom ミーティング使用

参加方法：メールか、申し込みフォームから

※名前、参加方法（会場、オンラインの別）、メールアドレス、携帯電話番号、職業、会員・一般の別などを明記し、支部事務局（Mejawest@mejaw.jp）までお申し込み下さい。

下記 URL または右記 QR コードの申し込みフォームからも申し込み可能です。オンライン参加の方には、前日までに URL を連絡します。https://forms.gle/kMrk2TdLV47oDSf57

参加無料
(会員、一般とも)



第1部 講演 (80分)



ウエル・ビーイングと
ワンヘルス

～人・動物・生態系の健康～

日本医師会名誉会長
横倉 義武



人口最少県・最少町から
地球課題の解決をめざす

～ プラネタリーヘルス
地域モデルの構築 ～

鳥取県江府町の地域創生医
桐村 里紗

第2部 パネルディスカッション (90分) ※講演の2人はパネルディスカッションにも参加

グローバルの視点で ～地域報道と医療と社会～

コーディネーター



にのさかクリニック理事長、
バングラデシュと手をつなぐ会代表

二ノ坂 保喜



長崎大学大学院教授

有吉 紅也

(熱帯医学研究所、熱帯医学・
グローバルヘルス研究科)

パネリスト



「被災地の今をつたえ、当事者の声をつなぐ」
ローカルジャーナリスト

寺島 英弥 (元河北新報編集委員、
尚絅学院大学客員教授)



「マダニ媒介の出血熱、西日本から東進、
ペットから感染も～国内確認 10 年～」
朝日新聞東京本社科学みらい部記者

竹野内 崇宏 (西日本支部常任幹事)

お問い合わせ
お申し込みは

特定非営利活動法人
日本医学ジャーナリスト協会 西日本支部
〒814-0001 福岡市早良区百道浜 1-2-6-303

E-mail ▶ Mejawest@mejaw.jp
Web ▶ https://mejaw.jp
電話 ▶ 090-2082-9824 (藤野支部長)